

交流拠点としてのミュージアム

2021年12月4日（土）～5日（日）

対面開催が正式に決定いたしました。

感染防止対策に基づき開催致しますため、定員数設けての開催となります。

【趣旨】

ミュージアムは、重層的な交流の場である。ミュージアム（学芸員）と市民、市民と市民など、さまざまな交流が生まれ、展開する。交流はミュージアム活動をささえるものであり、地域とその文化や環境を継承していくためにも有意義であり、これを意識的に追求する動きもある。この研究会では、交流拠点としてのミュージアム活動の実例をもとに、多面的な交流のあり方を考えていきたい。

※開催方針

2021年8月、全面リニューアルオープンした徳島県立博物館の常設展では交流拠点としての性格の強化を目指した。これに関する見学・報告を中心としながら、四国内の事例をあわせて検討することとする。

【定員】 30人

【参加費】 300円程度（一部の施設見学に必要ですが、人数により変動します）

【プログラム】

■12月4日

午後1時30分～5時 見学会「徳島県立博物館ほか徳島県文化の森総合公園文化施設」

■12月5日

午前10時～正午 見学会「徳島市立德島城博物館」
「その他自由見学（徳島城跡、徳島県立文学書道館）」

午後1時～5時 研究会（徳島市立德島城博物館和室）
13:00～13:10 趣旨説明（副支部長／徳島県立博物館 長谷川賢二）
13:10～13:40 「地域とともに創る展示―「徳島まるづかみ」事業から徳島県立博物館常設展リニューアルまで―」（徳島県立博物館 磯本宏紀）

13:40～14:10 「地域とともに創る展示―徳島県立博物館常設展リニューアルにおける設計者としての挑戦―」（乃村工藝社 岸田匡平）

14:20～14:50 「『蜂須賀家のたから探すプロジェクト』の成果と課題」
（徳島市立德島城博物館 岡本祐弥）

14:50～15:20 「地域との連携による取り組みについて」
（高知県立高知城歴史博物館 筒井聡史）

15:30～16:00 コメント（支部長／高知みらい科学館 高橋信裕）

16:00～17:00 質疑応答・討論

申込・問合せ

日本ミュージアム・マネジメント学会事務局へメールまたはHPのフォームからお申込みをお願いします。

〒135-0091 東京都港区台場 2-3-4 株式会社乃村工藝社内 TEL・FAX 03-3570-2498

メール kanri@jmna-net.org

ホームページ参加申込みフォーム <https://ssl.edinc.net/research/>（申込研究会名は中・四国支部を選択して下さい）